

2020年度事業報告書

特定非営利活動法人 兵庫農漁村社会研究所

1 事業実施の基本方針

法人設立9年目を迎え、さらに会員と力を合わせ、設立目的の実現に向けて地域活性化の活動、有機農業の推進、食育活動の推進等、食と農に関する多様な事業に取り組みました。さらに、県内農村における安全良質な食料の生産拡大、農村都市交流の県域的拡大、地産地消の県民の暮らしの定着等を図りつつ、農村地域の賑わいの回復、農村都市連携型の地域社会の拡大、健康な県民の暮らしの実現にも一層寄与することを今年度の基本方針として、各種事業に取り組みました。

2 特定非営利活動に係る事業

(1) 地域づくりの啓発連携事業

① 「地域農政フォーラム」の開催

・第36回地域農政フォーラム：「県下で活躍する新規就農者の理想と現実」

○実施日 11月20日(金)午後1時～4時30分

○実施場所 神戸市教育会館404号室

○講師 横山湧亮氏(丹波市)、徳毛小春氏(三田市)、稲葉久美子氏(兵庫県農業経営課長)

○コーディネーター：三浦恒夫氏(本研究所・理事)

② 「ビレッジライフ懇話会」の開催

毎月1回、「ビレッジライフ懇話会」(原則として第3土曜日の午後)を開催した。

コロナウィルスの影響により4月、5月は会場封鎖のため中止。

○実施日 毎月1回、計10回(第227回～第236回)

4月25日(コロナウィルスのため中止)

5月23日(コロナウィルスのため中止)

6月27日(川田夏子氏、保田ぼかしの野菜成分への効果、神戸市)

7月18日(石原清氏、次世代につなぐ里山を目指して、神戸市)

8月22日(矢本萌氏、地域農業と農業協同組合の役割、加東市)

9月26日(三木広志氏、原子力発電所の環境への影響、神戸市)

10月24日(マイクロプラスチックによる海洋汚染、木田奉行他3氏、神戸市)

11月28日(私の有機農業人生、井上恵子氏、加西市)

12月19日(有機農業について考える、松岡圭吾氏他、神戸市)

1月23日(オランダのワーヘニンゲン大学に留学して、藤田このむ氏、明石市)

2月27日(兵庫県の農業と人に触れて、稲葉久美子氏、県農業経営課長、神戸市)

3月27日(野菜のタネの話、小畑佳祐氏、加古川市)

○実施場所 県民会館901号室、1001号室、神戸市教育会館等

③地域づくりの企画運営の支援

- 実施日 コロナウィルスの影響により実施せず
- 実施場所

④大屋分室の活動

- ・「おおや有機農業の学校」オープンスクールの支援
- 実施日 8月、コロナウィルスの影響により実施せず
- 実施場所:
- 実施日: 2月、コロナウィルスの影響により実施せず
- 実施場所:

(2) 有機農業の推進連携事業

①「おおや有機農業の学校」の支援・連携

毎月、養父市大屋町で開催される「おおや有機農業の学校」の講義・実習ならびに運営に関して支援し、連携して活動

- 実施日 コロナウィルスの影響により7月から翌年3月まで毎月一回、計10回、受講者45名
- 実施場所 養父市大屋地域局

②「兵庫楽農生活センター・有機農業塾」の支援・連携

毎月、兵庫楽農生活センターで開催される「有機農業塾」の講義、実習ならびに運営に関して支援し、連携して活動

- 実施日 コロナウィルスの影響により8月から翌年1月まで毎月一回、計6回、受講者65名
- 実施場所 兵庫楽農生活センター

③「たじま農協・有機農業教室」の支援・連携

毎月、たじま農協豊岡営農生活センターで開催される「有機農業教室」の講義、実習ならびに運営に関して支援し、連携して活動

- 実施日 コロナウィルスの影響により全面的に中止。有志で「豊岡有機農業教室」を自主運営、9月から翌年1月まで毎月一回、計5回、受講者15名
- 実施場所 たじま・じばさん

④「神河有機農業教室」の支援・連携

毎月、神崎郡神河町で開催される「神河有機農業教室」の講義、実習ならびに運営に関して支援し、連携して活動

- 実施日 コロナウィルスの影響により5月から翌年1月まで毎月一回、計9回、受講者45名
- 実施場所 神河町文化ホール、神河町杉地区公民館

⑤「兵庫県立農業大学校・チャレンジ研修コース・有機農業」の支援・連携

毎月、加西市にある県立農業大学校で開催される「チャレンジ研修コース・有機農業」の講義、実習ならびに運営に関して支援し、連携して活動

- 実施日 コロナウィルスの影響により6月から翌年1月まで毎月一回、計8回、受講者30名

- 実施場所 県立農業大学校
- ⑥「小代有機農業教室」の支援・連携
 - 毎月、香美町小代区で開催される「小代有機農業教室」の講義、実習ならびに運営に関して支援し、連携して活動
 - 実施日 コロナウィルスの影響により5月から12月まで毎月一回、計8回、受講者30名
 - 実施場所 香美町小代地域局
- ⑦「神付有機農業教室」の支援・連携
 - 毎月、神戸市北区大沢（おおぞう）町神付で開催される「神付有機農業教室」の講義、実習ならびに運営に関して支援し、連携して活動
 - 実施日 コロナウィルスの影響により6月から翌年1月まで毎月一回、計8回、受講者65名
 - 実施場所 神戸市北区上大沢ふれあい会館（講義）、神付ふるさと村（実習）
- ⑧「たつの有機農業教室」の支援・連携
 - たつの市揖保川町で開催される「たつの有機農業教室」の講義、実習ならびに運営に関して支援し、連携して活動
 - 実施日 コロナウィルスの影響により7月から今年1月まで毎月一回、計7回、60名
 - 実施場所 たつの文化会館
- ⑨「丹波有機農業教室」の支援・連携
 - 丹波市柏原町で開催される「丹波有機農業教室」の講義、実習ならびに運営に関して支援し、連携して活動
 - 実施日 コロナウィルスの影響により5月から翌年1月まで毎月1回、計9回、45名
 - 実施場所 丹波の森公苑、丹波市立柏原住民センター会議室A・B
- ⑩「有機農業の寺子屋」の支援・連携
 - 神戸市中央区北野町で開催される「有機農業の寺子屋」（全6回）の講義、運営に関して支援し、連携して活動
 - 実施日（夜間）4月から翌年2月まで隔月一回、計6回、20名
 - 実施場所 ファームスタンド（神戸市中央区北野町）
- ⑪「神戸市しあわせの村」有機圃場の支援・連携
 - 障害者の仕事作りのための有機野菜栽培の支援のため、神戸市シルバーカレッジ卒業生有志のサポーターとともに、毎月1回、有機圃場において野菜栽培を指導、支援
 - 実施日 4月から翌年1月まで、毎月1回、計10回、参加者平均毎月15名
 - 実施場所 神戸市しあわせの村・有機圃場（略称・しあわせ農場）
- ⑫地域有機農業講座の支援・連携
 - 県下各地ならびに県外で随時開催される有機農業に関わる講座を支援し、連携して活動
 - 実施日と実施場所
 - 8月20日：宍粟有機農業講座1（宍粟市山崎町）
 - 10月16日：淡路有機農業講座（洲本市鮎原）
 - 10月23日：宍粟有機農業講座2（宍粟市山崎町）

- 2月7日：朝来有機農業講座（朝来市和田山町）
2月24日：みのたに有機農業講座（神戸市北区）
3月5日：北播磨有機農業講座・北播磨県民局（加東市社町）

⑬有機農業指導者の養成

有機農業のさらなる普及を図るため、指導者の養成に取り組む

- 実施日 兵庫県下各地の有機農業の学校・教室、有機農業講座の開催日
○実施場所 県内各地の有機農業の学校・教室、講座開催場所

⑭有機農業（HYS低温発酵有機資材活用）指導員の認定

有機農業の確実な普及を図るため、2019度から有機農業指導員を認定することにし、研究所内に認定委員会を設置するとともに、第3回認定式を開催した。

第3回有機農業指導員認定式の開催

- 開催日 3月16日（火）午後2時～4時30分
○開催場所 県民会館 902号室

認定委員会

- 委員長：三浦恒夫氏（理事、研究主幹・農業政策担当）
委員：西村いつき氏（理事、研究主幹・農業技術担当）
委員：小寺 収氏（社員、研究主幹・協同活動担当）

認定指導員

認定番号025番から038番まで、計14名を認定。氏名はホームページにて公開

⑮農地利用・管理の経営委託

丹波有機農業教室を主催するに当たり、農地法第3条に基づく農地の使用貸借権を設定。2019年3月25日に丹波市農業委員会より認可（契約5年間）。農地の使用・管理については「丹波天地有機の農業を楽しむ会」（代表・植木淳子氏）に引続き経営委託。

（3）食育推進事業

① 食のVenus「おやこ食育アカデミー」の開催

季節に応じたプログラムを工夫し、安全良質な食べ物、とりわけ、ごはんと発酵食品を通して土の栄養と人間の健康、発酵食品と人間の健康の関係を学び、日本の食文化、風土に育まれた農の営みを両輪とした食育活動を推進

- 実施日 今年度はコロナウィルスの影響により実施せず。
○実施場所

② 「第8回兵庫県学校食育研究会」の開催

小中学校における食育のあり方について研究するため、第8回学校食育研究会を開催し、研究報告、討論ならびに交流の場を提供し、兵庫県内の学校教育における食育の推進・向上に協力した。昨年度、コロナ対応で中止になった企画内容で、今年度、実施したものである。

- 実施日 3月26日（金）午前10時～午後4時30分
○実施場所 県民会館1202号室
○報告者 松尾吉晃氏（兵庫県教育委員会保健体育課指導主事）
松本 浩氏（西脇市立日野小学校長）
須貝直美氏（姫路市立安室小学校栄養教諭）
保田 茂氏（兵庫農漁村社会研究所理事長）

- 司会者 井岡徳子氏（小野市立小野南中学校教諭）
田路永子氏（元宍粟市立小学校栄養教諭）

③ かまど炊飯体験学習の支援・連携

兵庫県ならびに学校給食食育支援センターが実施するかまど炊飯体験事業の企画・運営を支援し、連携して活動。コロナウィルスの影響で16回予定のところ、5回実施した。

- 実施日 年間5回実施（兵庫県総合農政課、学校給食食育支援センター主催）

- 実施場所 県内の4幼稚園、2小学校等6校園で開催

武庫庄小学校（尼崎市）、安室小学校（姫路市）

伊勢幼稚園（芦屋市）、洲本幼稚園（洲本市）、篠山幼稚園（丹波篠山市）

明石幼稚園（明石市）

④ 食育指導者の研修・交流活動

食の Venus の活動に参加する管理栄養士を目指す学生ならびに若手栄養士に対する研修・交流の場を提供

- 実施日 今年度は実施せず

- 実施場所

⑤ 県下自治体による食育関連事業に対する支援

- 実施日 今年度は実施せず

- 実施場所

⑥ ひょうご食農塾の開催

高齢者を対象に、食と農に関する学習会を毎月1回開催し、食の大切さを自覚するとともに、高齢者の健康な暮らしが可能となるよう支援。コロナウィルスの影響により4月、5月は中止。8月は夏休み。

- 実施日 4, 5, 8月以外は毎月1回・第2水曜日（原則）、計9回、50名

- 実施場所 神戸クリスタルビル・セミナー室、県民会館902号室等

(4) 国際交流に関する事業

有機農業の技術、流通に関する国際交流の実施

- 実施日 今年度は実施せず

- 実施場所

(5) 食と農に関する調査・研究事業

兵庫県ならびに各自治体等の要請により、食と農に関する調査・研究を行う

- 実施日 今年度は実施せず

- 実施場所

3 事業実施体制

(1) 会議に関する事項

- ・通常総会 5月26日（火）予定のところ、コロナウィルスの影響により書面決議
- ・理事会 5月26日（火）、 ”
- ・分室会議 8月1日（土）、2月6日（土）、いずれも中止

(2) 事務局体制

・総括・企画担当	保田 茂 (理事長)
・広報 (ホームページ)・企画担当	山下陽子 (副理事長)
・庶務・会計担当	飛田みえ子 (社員)
・大屋分室担当 (分室長)	井原弘志 (社員)
別に監査担当を置く	大西信行 (監事)

(3) 研究組織

理事長 (総括)	保田 茂
副理事長 (食育担当)	山下陽子
研究主幹 (農業政策担当)	三浦恒夫 (理事)
同 上 (農業技術担当)	西村いつき (理事)
同 上 (協同活動担当)	小寺 収 (社員)
同 上 (地域農村担当)	和田祐之 (理事)
同 上 (国際交流担当)	飛田雄一 (理事)
同 上 (農村史担当)	池本廣希 (社員)

(4) 有機農業指導員認定委員会

委員長 (研究主幹)	三浦恒夫 (理事)
委 員 (研究主幹)	西村いつき (理事)
委 員 (研究主幹)	小寺 収 (社員)